

研究結果報告書

この度、私は、住友財団の研究助成金を戴き、これによって、「季語による俳句美学への研究」というテーマで研究に取り組んでいました。

研究は、春、夏、秋、冬という伝統的な分類法で、句中にある季語の位置づけ、役割などを通じて、俳句の美を発見し、その内的真実を透視する。そして季語が時代の発展につれてその観念、意味、用語などにも目をつけ、時間の流れの中で動的な季語感覚を見出し、とりわけ日本の伝統文化や自然環境のなかで生み出された俳句に現れた日本の風土や民族性の解読に力を入れたと思います。そして選考委員会の大変貴重なご意見を研究の内容に十分取り入れ、とりわけ中国人に、俳句を通して日本の民族文化への理解をいっそう深めてもらいたいということに心に留めていました。

研究成果としては、二編の論文を発表して、研究助成金を申請した際の約束通りに円満に完成しました。一編は、2011年8月西安で開催された中日韓言語文化研究シンポジウムにおいて発表された「季語による俳句の美学 春・夏の編」という論文で、もう一編は、2011年12月号の「北方工業大学学報」に発表された「季語によって発生された俳句美学への考察 秋・冬の編」という論文であります。

中国において、この分野での研究がまだ極めて少ないので、論文の発表はかなりの好評と反響を引き起こしました。とりわけ西安のシンポジウムで、参会者がこれをめぐって活発に議論し、これからもっと研究者の人数を拡大し、もっと多くの研究成果を期待するようという声をあげました。よって、私はさらに「中国人の俳句季語に対する再認識」と「季語的美学」という二編の論文を書いて、適当なところに発表することを考えています。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

「季語による俳句の美学 春・夏の編」発表者：鄭民欽
会議名：中日韓言語文化研究シンポジウム
2011年8月陝西師範大学(西安)

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

「季語によって発生された俳句美学への考察 秋・冬の編」発表者：鄭民欽
「北方工業大学学報」2011年12月号

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)